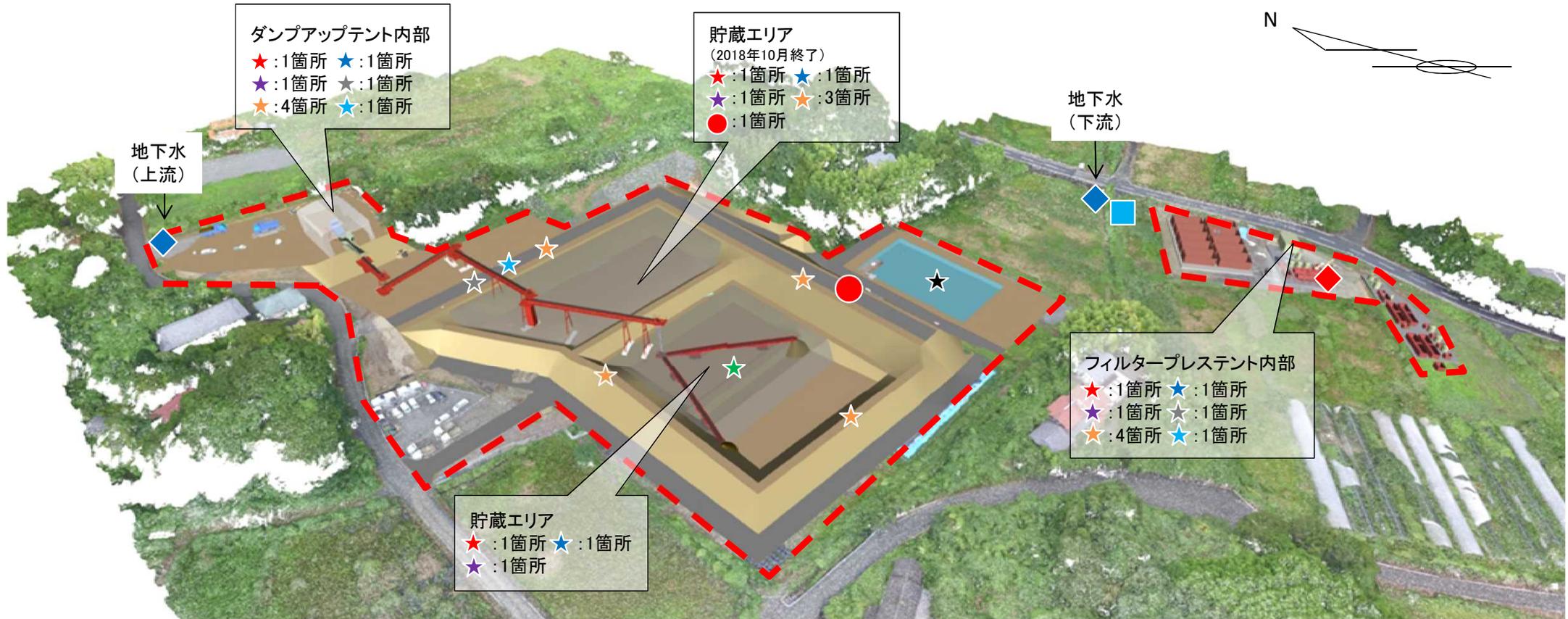


# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例		
◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等	● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度	◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量	■ : 放流先河川の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	☆ : 空気中の放射能濃度	★ : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
☆ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)	★ : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)	★ : 表面汚染密度(重機)
--- : 敷地境界線		

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/11/23 (稼働前)	13	21
	2019/3/7 (稼働後)	17	9.5
下流	2017/11/23 (稼働前)	17	9.4
	2019/3/7 (稼働後)	20	9.1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2019/3/7 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/3/7		8.4	2.3	11	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/3/9 ~2019/3/29	24	0.1	1.0	ND	837

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/3/7		7

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2019/3/7 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6,14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.6
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/6,14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレセント	0.16
貯蔵エリア中央	2.28

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6,14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$  ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2019/3/21 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	バルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2019/2/7	(稼働後)	18	11
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2019/2/7	(稼働後)	20	8.9

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)	ND
2019/2/7 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/2/7	8.4	3.7	9.6	8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/2/23 ~2019/2/23	3	0.1	2	ND	107

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日	
2019/2/7	10

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND
2019/2/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/2/1,6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.2
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/1,6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレセント	0.16
貯蔵エリア中央	2.49

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/1,6 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$ +セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$ ≦1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/2/19 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ヘルトコンベア	ND
	ヘルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23 (稼働前)		13	21
	2019/1/10 (稼働後)		16	17
下流	2017/11/23 (稼働前)		17	9.4
	2019/1/10 (稼働後)		18	9.2

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2019/1/10 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/1/10		8.5	1	7.8	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/1/24	3	1.0	4.0	ND	104

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/1/10		14

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2019/1/10 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/1/23 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.7
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	1.0

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/23 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.16
貯蔵エリア中央	2.28

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/23 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³, セシウム137: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2019/1/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ヘルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23 (稼働前)		13	21
	2018/12/6 (稼働後)		17	17
下流	2017/11/23 (稼働前)		17	9.4
	2018/12/6 (稼働後)		19	9.1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2018/12/6 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/12/6		8.4	2.1	6.4	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/12/7 ~2018/12/13	4	1.0	4.1	ND	140

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/12/6		11

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2018/12/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.7
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレセント	0.16
貯蔵エリア中央	2.34

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/12/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2017/11/23 (稼働前)	13	21
	2018/11/1 (稼働後)	18	17
下流	2017/11/23 (稼働前)	17	9.4
	2018/11/1 (稼働後)	18	9.2

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2018/11/1 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/11/1		7.5	0.9	7.9	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/11/6 ~2018/11/23	10	0.1	4.5	ND	344

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/11/1		2

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2018/11/1 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/11/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.8
フィルタープレセント	0.1
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/11/5 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.17
フィルタープレセント	0.17
貯蔵エリア中央	2.36

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/11/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	バルコ直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23 (稼働前)		13	21
	2018/10/4 (稼働後)		17	17
下流	2017/11/23 (稼働前)		17	9.4
	2018/10/4 (稼働後)		18	9

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)	ND
2018/10/4 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2018/10/4	7.8	1.2	5.8	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/10/5 ~2018/10/27	9	0.0	5.0	ND	313

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2018/10/4	ND

SS基準: 60mg/L

NDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND
2018/10/4 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/10/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.1
フィルタープレステント	0.1
貯蔵エリア	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/9 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
	ダンプアップテント
フィルタープレステント	0.17
貯蔵エリア中央	0.34

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/9 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
	ダンプアップテント
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$  ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/10/18 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
	貯蔵施設境界	境界東
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23 (稼働前)		13	21
	2018/9/6 (稼働後)		17	18
下流	2017/11/23 (稼働前)		17	9.4
	2018/9/6 (稼働後)		18	9.3

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2018/9/6 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/9/6		8.3	0.8	4.9	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/9/1 ~2018/9/27	18	0.0	5.0	ND	641

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/9/3		8

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2018/9/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/9/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.2
フィルタープレステント	0.1
貯蔵エリア	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/7 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンブアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.17
貯蔵エリア中央	0.36

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/9/7 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/9/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	バルコ直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23 (稼働前)		13	21
	2018/8/2 (稼働後)		18	18
下流	2017/11/23 (稼働前)		17	9.4
	2018/8/2 (稼働後)		19	9.2

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2018/8/2 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/8/2		8.2	ND	5.2	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/8/7 ~2018/8/31	17	0.0	1.0	ND	596

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/8/2		1

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2018/8/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/8/3 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.06
フィルタープレステント	0.06
貯蔵エリア	0.08

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/8/3 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.18
フィルタープレステント	0.17
貯蔵エリア中央	0.37

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³, セシウム137: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/8/20 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ヘルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23 (稼働前)		13	21
	2018/7/5 (稼働後)		17	18
下流	2017/11/23 (稼働前)		17	9.4
	2018/7/5 (稼働後)		19	9.1

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)	ND
2018/7/5 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2018/7/5	7.7	0.6	4.6	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/7/6 ~2018/7/20	15	0.0	5.0	ND	596

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/7/5	ND

SS基準: 60mg/L

NDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2018/7/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.01
フィルタープレステント	0.01
貯蔵エリア	0.01

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンブアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.17
貯蔵エリア中央	0.36

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/9 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³、セシウム137: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/7/18 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ヘルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年6月 ①

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2018/6/7	(稼働後)	17	18
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2018/6/7	(稼働後)	19	8.6

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2018/6/7	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ◆処理水中の水素イオン濃度等

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
		(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2018/6/7		8	0.9	8.7	ND

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質 (SS) のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度 (pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/6/4	4	7.2	7.3	0	3	ND	139
2018/6/13	5	6.8	7.0	0	4	ND	177
2018/6/14	5	7.0	7.1	0	5	ND	175
2018/6/15	4	7.0	7.1	1	4	ND	138

pH管理値：5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値：5以下であること。

放射性セシウム管理値：NDであること。

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/6/7		1

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2018/6/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

# 土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年6月 ②

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/6/15 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	0.10
フィルタープレステント	0.13
埋立エリア	0.06

定量下限値：0.01mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/6/15 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.16
フィルタープレステント	0.17
埋立エリア中央	0.37

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/6/15 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
埋立エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$ +セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

## 表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/6/18 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
埋立施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
埋立エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコンベア直下 管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年5月 ①

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2018/5/2	(稼働後)	17	18
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2018/5/2	(稼働後)	19	8.8

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2017/12/7	(稼働前)	ND
2018/5/2	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ◆処理水中の水素イオン濃度等

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質量 (SS)
測定日	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2018/5/2	7.6	ND	2.3	ND

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度 (pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/5/3	3	7	7.2	0	0	ND	100
2018/5/4	2	7	7.0	0	4	ND	66
2018/5/9	6	7	7.2	0	3	ND	202

pH管理値：5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値：5以下であること。

放射性セシウム管理値：NDであること。

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS)
測定日	(mg/L)
2018/5/2	1

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2017/11/2	ND	ND
2018/5/2	ND	1.0

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

# 土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年5月 ②

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/5/18 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	0.01
フィルタープレステント	0.01
埋立エリア	0.01

定量下限値：0.01mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/5/18 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.18
フィルタープレステント	0.17
埋立エリア中央	0.46

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/5/18 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
埋立エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/5/18 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
埋立施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
埋立エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコンベア直下 管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年4月 ①

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/11/23	(稼働前)	13	21
	2018/4/5	(稼働後)	18	17
下流	2017/11/23	(稼働前)	17	9.4
	2018/4/5	(稼働後)	19	8.7

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2018/4/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 $\leq$ 1

## ◆処理水中の水素イオン濃度等

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH) (-)	生物化学的酸素 要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 量 (SS) (mg/L)
2018/4/5		7.7	1.6	7.6	ND

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質 (SS) のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

排水の実績がないため、測定結果は未記載。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/4/5		ND

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND
2018/4/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 $\leq$ 1

# 土壌貯蔵施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年4月 ②

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/4/16 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	0.13
フィルタープレステント	0.02
埋立エリア	0.06

定量下限値：0.01mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/4/16 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.18
フィルタープレステント	0.17
埋立エリア中央	3.46

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/4/16 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
埋立エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/4/19 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
埋立施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
埋立エリア	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア	ND
	ベルトコンベア直下 管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>